



三菱電気空調機 **カマシ** ロスナイ

壁掛1パイプ取付ロスナイ

形名によって据付けが異なりますので、あらかじめご使用の形名をご確認ください。



この製品は、使用する地域の温度の違いにより仕様を分けています。地域区分はカタログに記載されています。地域にあった製品かどうかご確認ください。

Table with columns for '寒冷地仕様' and '準寒冷(・温暖)地仕様', listing model names and types.

据付説明書

販売店・工事店様用

- 別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。
この製品は住宅用です。それ以外には使用しないでください。
この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。次の表示で区分して説明しています。

Warning and Caution symbols with text: 警告 (誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性もあるもの), 注意 (誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの)

Prohibition symbols: 禁止 (風通し・シャワー等の使用禁止), 分解禁止, 水ぬれ禁止, 指示に従い必ず行う

Table of safety warnings with icons and text: 高温となる場所や直接炎があたり、油煙の多い場所、有機溶剤のかかる場所には据付けない、改造や必要以上の分解はしない、製品を水につけたり、水をかけたりしない、浴室など湿気が多いところには本体および壁スイッチを据付けない、交流100Vを使用する(直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因)、外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を含み込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ、本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に(落下によるけがの原因)、端子台は、指定の電線をを使用して、抜けないように確実に接続する、電気工事は電気設備の技術基準や内規に準って必ず専門の電気工事店(電気工士)が安全・確実に行う、据付け後長期間使用しないときは、必ず火災警報のブザーを切る、端子台カバーは電気工事後必ず据付けする

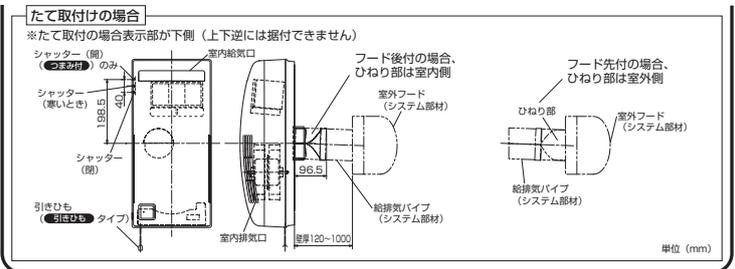
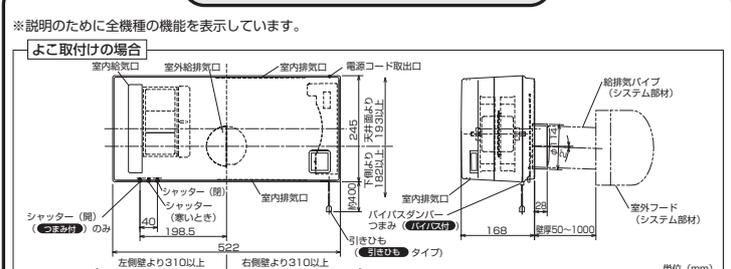
Table of installation notes with icons and text: 壁据付け専用です。天井には据付けない、据付けの際は手袋を着用する、給排気パイプは室外側に向かって下りこごに取付け、断熱処理を確実に(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因)、ドレン排出は、据付説明書に従って確実に(水漏れによる感電・火災や家財等を濡らす原因)、専用のシステム部材のフードを取付ける(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因)、下記の使用条件を超える地域、場所には据付けない

1. タイプ別の違い

タイプ別に違いがありますので、あらかじめ形名を確認してください。本文中では、表中のマークを使って説明しています。

Comparison table for different unit types (排湿用, 寒冷地仕様, etc.) listing features like remote control, fan speed, and power supply options.

2. 外形寸法図



3. 同梱部品を確認してください

- Parts list: 本ねじ (6本), バックシール (1個), リモコン (1個), リモコンホルダー (1個), 乾電池 (2本), 取付けねじ (1本), etc.

システム部材(別売)が必要です。この製品は同一本体で「よこ取付け」「上取付け」「フード後付け」「フード先付け」が可能です。

Table showing system parts required for different installation methods (よこ取付け, 上取付け, etc.) and their specifications.

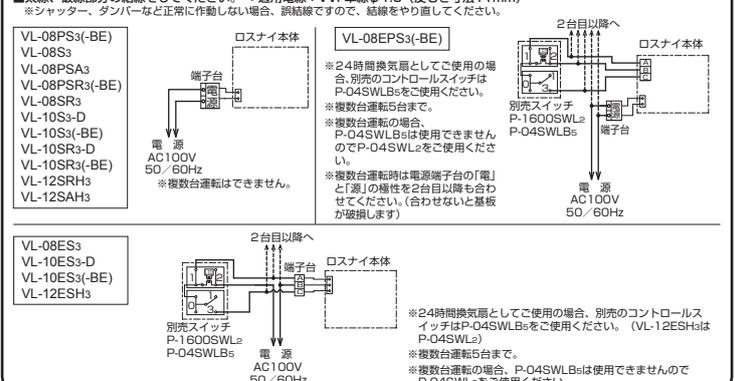
4. 据付けの前に

- 1. 取付け板をはずす (本体背面のテープをはがして取付け板をはずす)
2. パネルをはずす (パネルをはずした後、本体内部にねじなどが入らないように注意してください)
3. 端子台カバーをはずす

5. 据付方法 5-1を確認後、裏面を見る

室外フードを本体よりも先に据付けるか(フード先付け)、後に据付けるか(フード後付け)によって据付方法が異なります。詳しくは裏面を見てください。

5-5-1. 結線図 100V専用・誤結線注意



6. 据付け後の確認

据付け終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。不具合があった場合は必ず直してください。

Checklist table for post-installation confirmation, including voltage checks and operational tests.

7. 試運転

- できるかぎりお客様立会いで、試運転を行ってください。
1. 電源を入れる
2. 運転状態の確認を行う
3. 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止します

取付方法

フード後付けの場合

本体を壁に据付けた後で、フードを取付ける施工方法です。
※説明に使用しているイラストは排湿タイプの場合

5-1. 壁穴工事

5-1-1. 壁穴工事

5-1-2. 電源・連絡電線の引き出し

裏面を見る

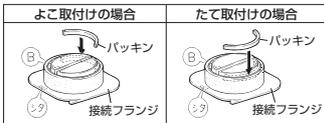
5-2. 据付け前の準備

1. 接続フランジにパッキンを入れる

接続フランジのパイプ接続側の溝にパッキン（同梱）を入れる。

お願い

- このパッキンはパイプにこう配をつけるために入れます。
- 本体の据付方向でパッキンの位置がちがいます。

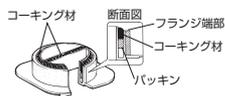


2. コーキング材の塗布

接続フランジにコーキング材を塗布する。

お願い

- フランジ部より高く塗布してください。
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング硬化前に次の作業を行ってください。



3. 接続フランジを給排気パイプに取付ける

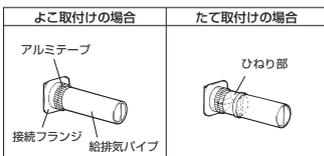
(1) 給排気パイプを接続フランジの溝の奥まで確実に入れる。

(2) 接続フランジと給排気パイプをパイプに同梱のアルミテープ（大）を巻き付けて確実に固定する。

- 確実に固定しないと、ドレン水（ドレンパン付）が漏れるおそれがあります。

お願い

- たて取付けの場合必ず「ひねり部」が室内側へくるように差し込んでください。

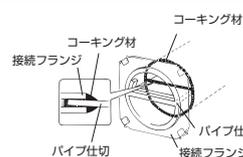


4. 接続フランジとパイプ接続部のコーキング

接続フランジと給排気パイプの接続部を内側からコーキングする。

お願い

- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材をつけたあと表面を平らにしてください。
- コーキングが接続フランジよりも厚く塗らないでください。（ドレン水（ドレンパン付）が排出されません）

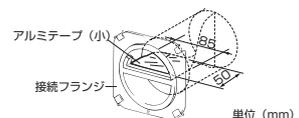


5. アルミテープの貼り付け（たて取付けの場合：ドレンパン付）

同梱のアルミテープ（小）を図のように貼る。

情報

- ドレンパン先端から出た水を流れやすくするために貼ります。

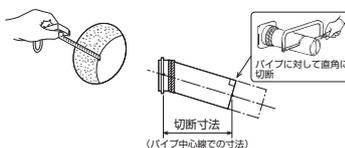


6. 給排気パイプを切断する

(1) 壁厚を測る。

(2) 下表の寸法で給排気パイプを切断する。（室外フードによって切断寸法が異なります）

室外フード	切断寸法
防火ダンパーつき	壁厚+10mm
防火ダンパーなし	壁厚+30mm



7. 給排気パイプを取付板に固定する

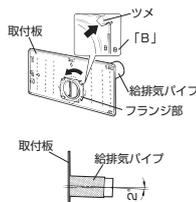
(1) 給排気パイプを取付板に差し込む。

(2) 左回りに回転させて、接続フランジをツメに引っ掛ける。

(3) 給排気パイプが右図のように室外側に向かって下りこう配になっているか確認する。

お願い

- フランジにツメが4か所ともかかっていることを確認してください。（製品背面が押されてシャッター動作不良の原因になります）
- 取付板の刻印「B」とフランジ部の刻印「B」が合うように取付けてください。
- 給排気パイプが下りこう配になっていないと、ドレン水の逆流（ドレンパン付）や雨水が浸入します。



8. 断熱材の切断

断熱材を壁厚寸法で切断する。

9. 給排気パイプに断熱材を巻き付ける

切断した断熱材を給排気パイプに巻き付ける。

お願い

- 断熱材は室外へ出る部分には巻き付けなくてください。フードが取付けられなくなります。



5-3. 取付板の取付け

取付板を固定する

(1) 給排気パイプを壁穴に通す。

(2) 取付板を木ねじ1本で仮固定する。（最後に締めつけてください）

(3) 本体固定ねじ1本を本体吊用として取付板に取付ける。

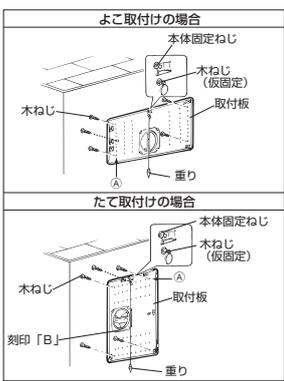
(4) 重りを吊り下げて、取付板の水平（傾き1°以内）を確認する。（本体が傾いているとドレンパンから水がこぼれる場合があります）

(5) 壁内の補強材のある位置に木ねじ4本で取付板を固定する。

(6) ④列中央の木ねじ1本で固定する。

お願い

- できるだけ4すみの均等な位置に固定してください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。（市販品）
- たて取付けの場合、刻印「B」が下側になるよう取付けてください。
- 電源・連絡電線取出口位置と取付板との位置関係は正確に出してください。（取付板の位置がずれると電源・連絡電線取出口が本体からはみ出してしまいます）



5-4. 本体の据付け

本体の固定 ※電源プラグ付に変更する場合は、先に5-5.電気工事を行う。

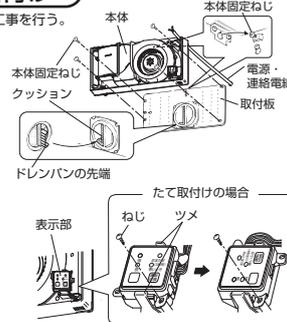
- (1) 電源・連絡電線を引込口から本体内部に引き込む。
- 本体と取付板との間にかみ込まないようにしてください。（電源プラグ付に変更の場合不要）
- (2) 取付板の本体固定ネジに本体を引っ掛ける。
- ドレンパンの先端で給排気パイプのクッションを押し込まないように差し込んでください。（ドレンパン付）
- (3) 本体を壁側に押つけて本体固定ねじ4本で固定する。
- 軸長150mm以上のドライバーを使用してください。

お願い

- 本体を吊るす本体固定ねじは仮固定ですので必ず本体を手で支えてねじ固定してください。

たて取付けの場合

- (1) 表示部のねじ1本を取りはずす。
- (2) 表示部を本体のツメ2か所から取りはずして向きを変える。
- (3) 再度本体のツメ2か所にはめこみ、ねじ1本で締め直す。



5-5. 電気工事

警告

- 交流100Vを使用する（直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因）
- 端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する（接続に不備があると火災の原因）
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事事）が安全・確実に行う（接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因）

1. 結線をする

- (1) 電源・連絡電線を結線図（裏面5-5-1）のとおりに結線する。
- (2) 端子台から電線が抜けないことを確認する。

お願い

- 壁スイッチタイプのみ
- ホタルスイッチや電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマー等）など、当社指定以外のスイッチをご使用の場合は、組合せ上、（シャッター動作などの）不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 他社のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。（スイッチへの結線部分と渡り線が異なり、誤結線となる場合があります）



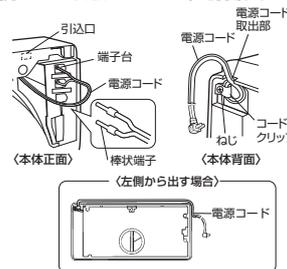
電源プラグ付に変更する場合 …システム部材の電源コード（別売P-01DCまたは、P-250DC）を使用する

壁スイッチタイプ以外

- (1) 本体の電源コード取出口の薄肉部を切り取る。（電源コードが傷つかないように端面のエッジ処理をする）
- (2) システム部材の電源コードを電源・連絡電線引込口から端子台に引き込み結線する。
- (3) 本体背面でコードに同梱のコードクリップをねじて電源コードを固定する。（電源コードとコードクリップの向きに注意する）
- (4) コンセントが左側にある場合は本体上に電源コードをそわせる。
- (5) コード処理後、本体を据付ける。（「5-4.本体の据付け」参照）

お願い

- 電源コードは、引っぱっても動かないよう確実に固定してください。
- 棒状端子は確実に端子台の奥まで差し込んでください。

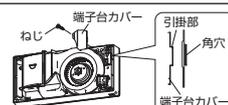


2. 端子台カバーを取付ける

端子台カバーの引掛部を本体の角穴に差し込み、左側をねじ止めする。

お願い

- 電源・連絡電線に無理な力がかからないように端子台カバーを取付けてください。



自動運転タイプのみ

3. 24時間換気モードと局所換気モードの選択をする

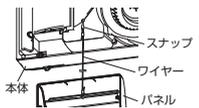
24時間換気モードとしてご使用の場合は、感度調節つまみを24時間換気モード側の「標準」に合わせてください。
局所換気モードとしてご使用の場合は、局所換気モード側の「標準」に合わせてください。



5-6. パネルの取付け

1. パネルのワイヤー（落下保護用）を

本体のスナップに取付ける。

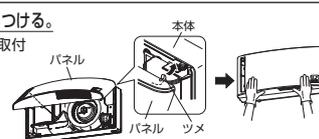


2. パネルの片側2か所のツメをはめこみ、パネルを押しつける。

※たて取付けの場合は、左右どちらからでも引掛けて、取付けることができます。

お願い

- たて取付けの場合は、表示部の向きを変えます。「5-4.本体の据付け」を参照してください。



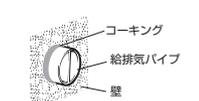
5-7. 室外側工事

1. 壁穴をふさぐ

給排気パイプと壁穴とのすき間を市販のコーキング材でふさぐ。

お願い

- すき間をふさがないと雨水が浸入します。



2. 室外フードの取付け

室外フードの据付説明書に従い室外フードを取付ける。

裏面の「6.据付け後の確認」および「7.試運転」を行ってください。

フード先付けの場合

マンションで外装工事を先に仕上げる場合、フードを先に取付けておくことができます。以下ではマンションへの据付けを想定して説明しています。

5-1. 壁穴工事

5-1-1. 壁穴工事

裏面を見る

5-2. 据付け前の準備

1. システム部材の用意

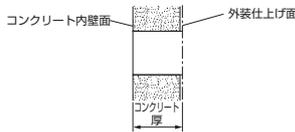
取付けには別売の室外フード、給排気パイプ、パイプ固定板が必要です。機種に適合するシステム部材を用意してください。

- 角穴に丸形フードを使用する場合は、システム部材のフード取付板P-700Tの使用をおすすめします。



2. コンクリート厚を測定する

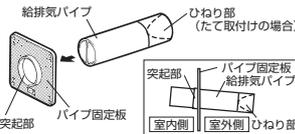
図を参照してコンクリート厚を測る。(コンクリート厚には外装仕上げ面厚さを含む)



3. 給排気パイプの挿入

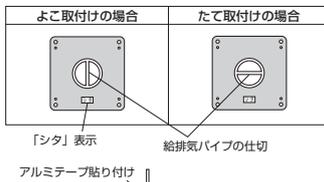
パイプ固定板に給排気パイプを挿入する。

- パイプ固定板には方向性があります。突起部が室内側になります。
- 本体をたて取付ける場合は、給排気パイプのひねり部分を室外側にする。



4. パイプ固定板の位置決めと給排気パイプの仕切の方向

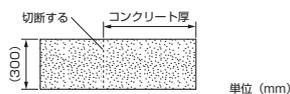
- (1) パイプ固定板の上下方向を確認し、右図のように給排気パイプの仕切の方向を決める。
- (2) コンクリート厚+「パイプ室外寸法A」を決め、その位置にパイプ固定板をセットする。
- (3) 給排気パイプに同梱のアルミテープ(大)でパイプ固定板と給排気パイプを固定する。



室外フード	パイプ室外寸法A	パイプ室外寸法A
防火ダンパーつき	10mm	15mm
防火ダンパーなし	30mm	35mm

5. 断熱材の切断

断熱材をコンクリート厚寸法で切断する。



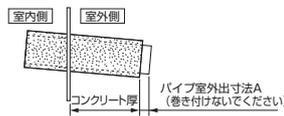
6. 断熱材の巻き付け

切断した断熱材を給排気パイプの室内側・室外側に巻き付ける。

- パイプ室外寸法Aについては、上記手順4の表を参照ください。

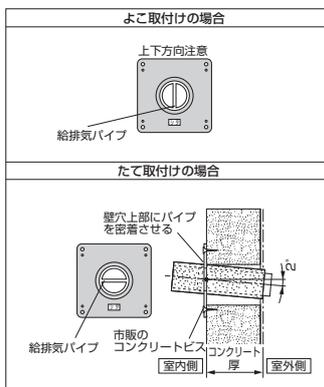
お願い

- 断熱材はパイプ室外寸法Aには巻き付けしないでください。フードが取付けられなくなります。



5-3. 給排気パイプの取付け

- (1) パイプ固定板の上下方向を確認し、給排気パイプを室内側から壁穴に通す。
- (2) 室内側の給排気パイプが壁穴の上部に密着するようにパイプ固定板を位置決めする。
- (3) コンクリートビスの固定位置(4か所)に印をす。
- (4) 給排気パイプを一旦取り出す。
- (5) コンクリートビスの予備穴を開ける。
- (6) 給排気パイプを挿入し、パイプ固定板をねじ止める。(市販のコンクリートビス4本)



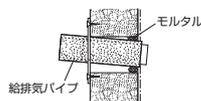
5-4. 室外側工事

1. 壁穴をふさぐ

給排気パイプと壁穴とのすき間をモルタルなどでふさぐ。

お願い

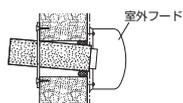
- 給排気パイプには傾斜が必要です。ふさぐ際に上下に無理な力を加えずに仕上げてください。
- すき間をふさがないと雨水が浸入します。



2. 室外フードの取付け

室外フードの据付説明書に従い室外フードを固定する。

この時点で室外側の工事は完了です



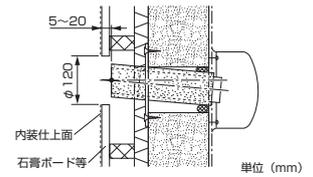
5-5. 内装工事

1. 給排気パイプの切断と内装仕上

- (1) 内装仕上から給排気パイプ端部の寸法が5~20mm以内の範囲になるよう給排気パイプを切断する。

お願い

- 内装仕上から給排気パイプ端部の寸法(5~20mm)を守ってください。
- (2) 内装仕上の給排気パイプ位置にφ120の穴を開ける。



2. 電源・連絡電線を引き出す

裏面5-1-2をご覧ください。

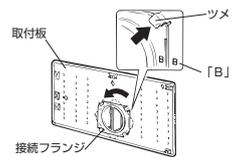
5-6. 取付板の取付け

1. 接続フランジの取付け

- (1) 取付板に接続フランジを差し込む。
- (2) 左回りに回転させる。
- (3) ツメ4か所に引っ掛けて接続フランジを固定する。

お願い

- 取付板の刻印「B」とフランジ部の刻印「B」が合うように取付けてください。
- 同梱のパッキンは使用しません。
- フランジにツメが4か所ともかかっていることを確認してください。(製品背面が押されてシャッター動作不良の原因になります)



2. コーキング材の塗布

接続フランジにコーキング材を塗布する。

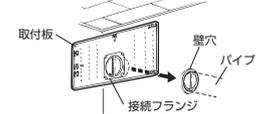
お願い

- フランジ端部より高く塗布してください。
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング硬化前に次の作業を行ってください。



3. 接続フランジと給排気パイプの接続

接続フランジを壁内の給排気パイプに挿入する。

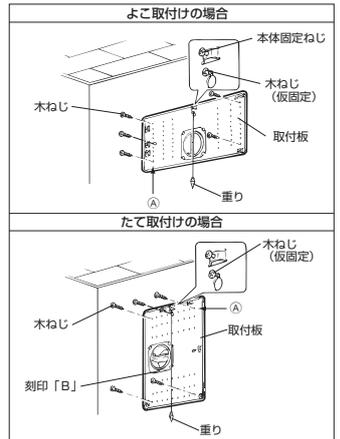


4. 取付板の固定

- (1) 取付板を木ねじ1本で仮固定する。(最後に締めつけてください)
- (2) 本体固定ねじ1本を本体吊用として取付板に取付ける。
- (3) 重りを吊り下げて、取付板の水平(傾き1°以内)を確認する。(本体が傾いているとドレンパンから水がこぼれる場合があります)
- (4) 補強材のある位置に木ねじ4本で取付板を固定する
- (5) ④列中央を木ねじ1本で固定する。

お願い

- できるだけ4すみの均等な位置に固定してください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。(市販品)
- たて取付けの場合、刻印「B」が下側になるよう取付けてください。
- 電源・連絡電線取出位置と取付板との位置関係は正確に出してください。(取付板の位置がずれると電源・連絡電線取出穴が本体からはみ出してしまいます)

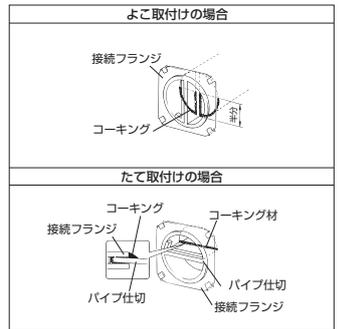


5. 接続フランジとパイプ接続部のコーキング

接続部の下から半分を内側からコーキングする。

お願い

- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材をつけたあと表面を平らにしてください。(コーキングが高すぎるとドレン水が排出されません)(ドレンパン付)

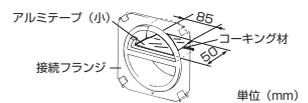


6. アルミテープの貼り付け(ドレンパン付たて取付けの場合のみ)

同梱のアルミテープ(小)を図のように貼る。

情報

- ドレンパン先端から出た水を流れやすくするために貼ります。



以降の工事は「フード後付けの場合」と同様に行ってください。

5-7. 本体の据付け

※「フード後付けの場合」の5-4参照

5-8. 電気工事

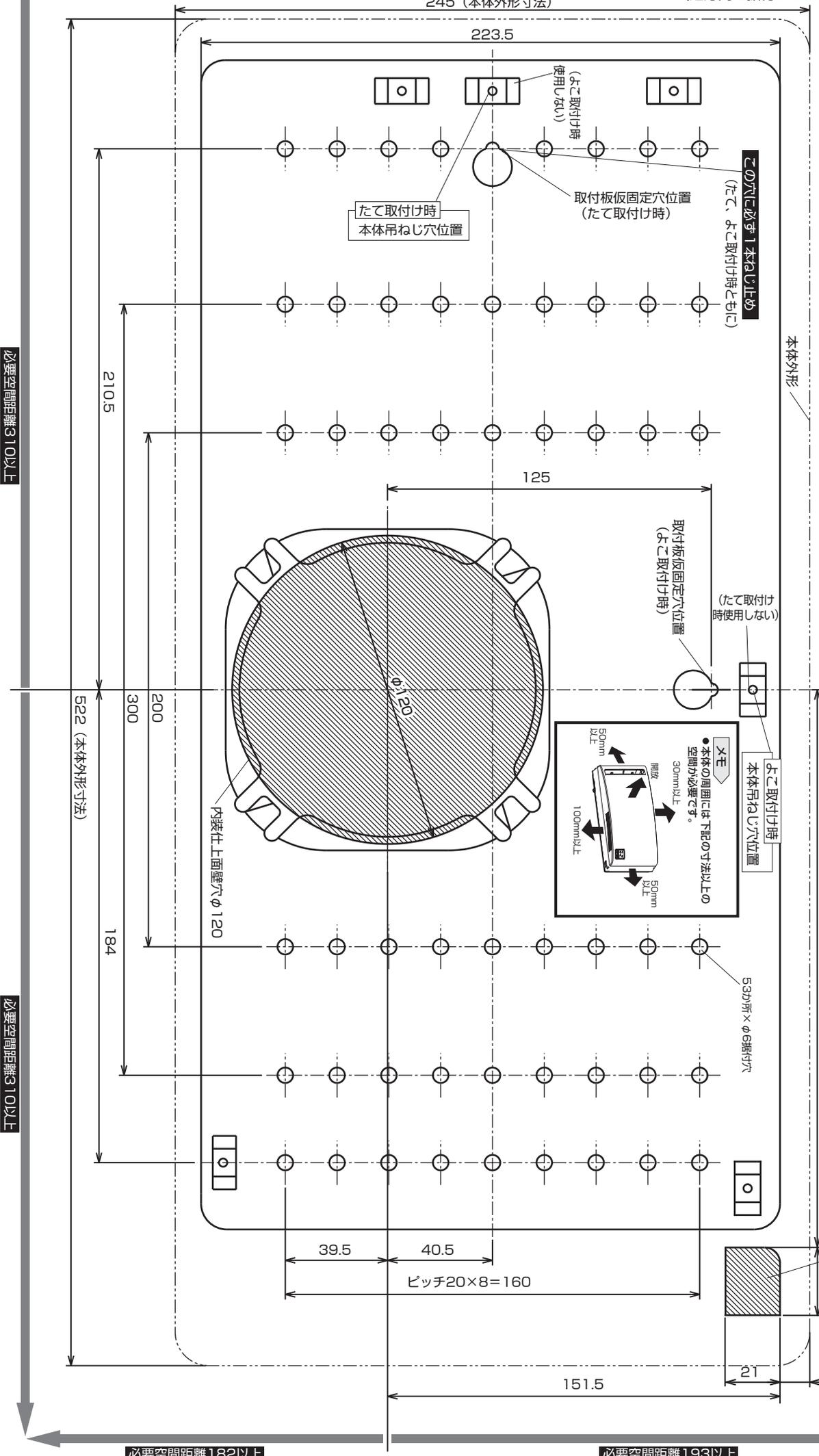
※「フード後付けの場合」の5-5参照

5-9. パネルの取付け

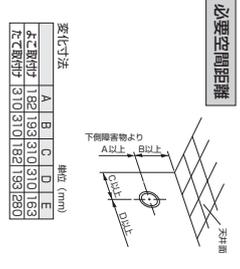
※「フード後付けの場合」の5-6参照

裏面の「6.据付け後の確認」および「7.試運転」を行ってください。

たて（袖壁）取付けの場合（↑矢印の方向を上にしてください。）※この方向で据付けてください。（逆方向に据付けるとドレンが逆流し、内部を汚します）



5-1-1. 壁穴工事

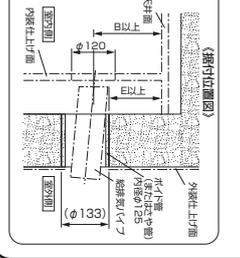


1. 据付位置・壁穴位置を決める

(1) **必要空間距離** (左図) を確認する。
 ● 室外から不純なにおいを給気しない位置であるか確認する。
 ● 壁内の補強材が取付板を固定できる位置にあるか確認する。
2. φ120の壁穴をあける。

1. 据付位置・壁穴位置を決める

(1) **必要空間距離** (左図) と《据付位置図》 (右図) を確認し、壁穴位置を決める。
2. 壁穴をあける
 (1) 内径φ125のホド管(またはたさや管)を入れ、コナクレーン壁を作る。
 (2) ホド管(またはたさや管)を引抜く。
3. 外装壁面を仕上げる

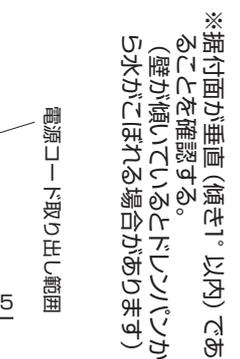


5-1-2. 電源・連絡電線の引き出し

電源・連絡電線を引き出す

(1) 電源・連絡電線取り出し位置を確認し、穴をあける。
 (2) 電源・連絡電線を室内側へ引き出す。

※ スイッチャウト以外の場合はシステム部材の交換コード (P-01 DC, P-25 000) を使用すると電源コードが対応になります。このときは電源・連絡電線の引き出しは不要となります。



※据付面が垂直 (傾き1°以内) であることを確認する。
 (壁が傾いているとドレンパンから水がこぼれる場合があります)